

平成30年度 わかあゆ認定こども園自己評価結果

1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

2. 重点的に取り組む目標・計画

- 安全教育の徹底と基本的生活習慣の形成に努める。
- 地域の施設や自然を積極的に活用する等、園内外における活動を強化し、人や自然を愛する心を育てる。
- 教員研修の継続的実践と資質の向上を図る。
- 幼小連携活動に積極的に参加し、小学校への移行がスムーズに行えるようにする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
認定こども園教育・保育要領に基づき、園児の実態に即した指導計画が作成されている。	A	乳児から幼児への滑らかな接続を考慮した保育を行えるよう計画し、また園児の発達に合わせた指導計画を作成、見直しをした。
指導計画により、計画的に教育・保育が行われている。	A	指導計画・週案日案等により日々繋がりのある保育ができるよう園内研修や職員会議等で問題提起し実践した。
教育・保育に適切な環境が構成されている。	A	園児の興味関心に沿った環境構成や地域との連携を図ることで園児1人1人が生き生きと活動する場の提供ができた。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導が行われている。	A	個別の関わりを大切にし、家庭環境の把握や置かれている状況を理解し、支援をしながら保護者への働き掛けをしている。
職員の資質向上に係る取組について	A	園内研修、外部研修への参加、伝達、職員間での共有をすることで職員の資質向上に繋げている。
幼小連携に係る取組について	B	那珂川町ハッピースロープランを基に小学校の授業参観、関係機関との情報交換等を行い円滑な継続を図った。
安全管理の取組について	A	危機管理マニュアル、保育マニュアル、アレルギーマニュアルの読み合わせ。毎月の交通安全教室、総合避難訓練の年2回実施。

子育て支援事業について	B	年3回の保育参観、年2回の個別懇談、保護者対象に講演会を年に数回開いている。
情報の公開・発信について	B	毎月の園だより、保健だより、ホームページの開設。一斉メール

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
職員の資質向上	職員一人一人が保育者としての意識改革をすると共に研修への積極的参加の機会を設け、保育者としての専門性の向上に努める
保育の連続性	入園から就学に向かって長期的な視野で日々の保育の連続性を考える。園児が自ら考え意欲的に活動するにはどの時期にどんな経験が必要か。
地域との連携	核家族が多くなり園児の人間関係が両親だけという子がいるので、外部の方との交流を活用し、多くの人が居ることを遊びの中で知らせていく。
情報の発信	ホームページの活用。一斉メールの導入。

平成31年3月29日

評価者

那珂川町立わかあゆ認定こども園

園長 大森 尚美